

## リースアップパソコンの活用

—OSPパッケージの活用—

株式会社 くじらシステム開発 代表取締役 池村健一

ike@kuzilla.co.jp

キーワード：リースアップパソコン、ハードディスクインストール

### 1. はじめに

株式会社 くじらシステム開発は、福岡市博多区でソフトウェア開発を行っている社員4名の小さな会社です。

主に販売管理・在庫管理等の基幹業務系のシステム開発を行っていますが、それ以外にもLAMP系といわれるOSSを利用したWebシステムの提案開発等も行っています。

中小企業のIT活用にOSSを役立てようと色々模索している中で、デスクトップ環境においても将来利用する場面があるだろうと、社内の古いパソコンにはLinuxベースのデスクトップ環境も実験的に利用しています。

今回のOSP事業を知り、今までの経験を生かした地域貢献ができるという事と、この経験は将来企業へのOSSサポートにも応用できるのではないかと思い参加しました。

### 2. 目的

福津市内の小学校で来年以降コンピュータ機器の更新が行われる予定なので、リースアップしたパソコンを利用して、費用をかけずに学習に利用できる環境を構築できるかを検証します。

また、校務処理に利用できるかを検証するために、オープンオフィスの研修等を行います。

OSPパッケージの資料を基に各アプリケーションを使った授業の検証も行い、実際に生徒が補習でOSPパッケージを利用しその効果を見ます。

OSPパッケージを利用したネットワーク環境および、アプリケーションの活用・サポート環境等を、福津市情報教育推進協議会の方々紹介し、来年以降のコンピュータ学習への取り組みを推進していきます。

現在導入されている、ICT環境のセキュリティ等での影響を与えることなく、自由に使えるOSP環境を構築し、どのような活用ができるかを検証し、リースアップパソコンの活用方法を検証します。

### 3. 実際のサポート内容

上記目的のために今回のサポート対象になる学校は、福岡県福津市の福津市立福間東中学校 1校です。

1校だけなので担当の毛利先生とはたつぷりと打合せをしながら進めることができました。

#### (1) パソコンのリプレース

福間東中学校では8月に新しく40台のパソコンを導入していました。授業自体はこの新しい環境を利用していきます。

新しい環境は、高度なICT環境が整っていますが、授業と教務の両方で使っていることと、まだ導入したばかりで慣れていないため、実験的なことがしにくく一般教科の補講等での活用がしにくい状況もあります。

また、放課後に生徒に使わせる等のことも現実的にはできない状況になっています。

本来の授業および教務に影響を与えないようにネットワークを独立させ、Webコンテンツフィルタだけを利用したOSPパッケージの検証環境を構築していきます。



写真1 パソコン教室

#### (2) リースアップパソコンの活用

上記リプレースで余ったパソコンを利用して、簡単に気軽に活用できるパソコン環境を構築します。

空いた教室に設置した6台のリースアップパソコンにOSPパッケージを導入し活用することにしました。

まず試しにCD起動で試してみたところ、非常に起動が遅く実用的ではないため、メモリの増設を行い、最終的にハードディスクへインストールすることにしました。

ハードウェアスペック

CPU: PentiumIII 400MHz メモリ: 256MB(増設後)

HDD: 9.6GB (WindowsNT ⇒ OSPへ)

今回はHDDインストールしたので、OSP基本パッケージに含まれないOSS等も簡単に試せるように、Apt-get等でDebianのアプリケーションを手軽に試せるように設定しました。

全体を通したサポートの中で、最も面倒だったのは、最初に行ったHDDへのインストールでした。OSP基本パッケージそのものがHDDの対応が不十分で普通にインストールすると色々な細かい弊害が出てきました。

その他の障害としては、音が鳴らない・Flashが動かない・動画が動かない・細かいエラー表示が出る等々出ましたが、それぞれ対応手順を文書化し対応しました。

当初の予定では先生に対するOpenOffice.orgの講習時間を多く取っていましたが、それよりも技術的なサポートが良いとの事で、1月にサーバ版を導入しました。

一通り障害や要望には全て対応することができました。

### (3) 今後の課題

今回は授業で使うパソコンではないということと、導入から活用までが短期間であったため、あまり大きな問題も発生せず、サポートとしての役目は果たすことができました。まだ一通り環境が整っただけで本格的な活用はこれから始まるという状況ではあるが、細かな問題はあってもOSS自体が十分使えるものだという感触は得られたと思います。

今回HDDにインストールしましたが、当面はこの環境でそのまま利用し、OSP基本パッケージの次期バージョンアップ時にUSBブートへ移行する形が良いだろうということになりました。

Linuxサーバの導入は1月になって決めたため、設置しただけという状況なので、引き続き問題なく活用できるまでサポートしていく予定です。

## 3. サポートビジネスモデル

今回のサポートを行ってサポート企業として感じた点は大きく二つあります。

### 1. サポート対象が1校なのは難しいが、バラバラでは大変そう。

今回のKプロジェクトはサポート対象が1校だったが、実際にサポートビジネスモデルとして活動するには、1校だけでは予算的に難しい。また、コストを抑えかつ十分なサポートを行うためには近隣の学校の方が、すぐに訪問できて良いし、学校間・先生間の情報共有も進めることで活用側もサポートも連携しやすいのではないかと思います。学校単位のサポートというよりも、地域単位のサポートが効果的だと思います。

### 2. OSP基本パッケージの強化

今回はOSP基本パッケージをHDDにインストールしましたが、今回の活用範囲ではFedoraやUbuntuの方が簡単に導入できたと思われます。しかし、全ての学校で共通のディストリビューションがあれば、情報の共有化という意味では有意義だと思うので、ぜひOSP基本パッケージを強化して行ってほしい。

学校側としてOSP基本パッケージさえ導入すれば全国で使っている教材が簡単に試せる利点と、OSP基本パッケージをサポートできるという企業が地域に数社あれば、サポートが追いつかなければ企業同士連携できる共通システムになって欲しい。

地域の学校・先生・IT企業が共通知識として使えるような存在にOSP基本パッケージがなれば、サポートする側・される側もスムーズになると思います。

## 4. 感想

今回このプロジェクトに参加して、福間東中学校の毛利先生を始め、参加した全国の先生方の、生徒達の学習意欲を高めたい・もっと効果的な授業をしたい・少ない予算の中で効果的な環境を構築したいという熱い思いを感じることができ、有意義なプロジェクトに参加できたことを嬉しく思います。

我々のITに関する知識や技術をもっと地域の教育現場へ活用できないものか?という思いも強くなりました。それは学校や先生に対する直接的なサポートだけでなく、OSPパッケージの強化等も含めてです。

また、子をもつ親としてこの様な行政・教育機関の取り組みに対して今後も協力していきたいと思っています。



写真2 リースアップパソコンの活用